

第3期札幌 YTIC 受講中の、吉武ゆりです。

北海道上川郡東神楽町の志比内小学校の山村留学制度について、下記の HP へリンクしていただければ、詳細を確認していただけます。

<http://shibinai.com>

東神楽町の町営住宅の一部は無償で被災者を受け入れていて、「被災者受け入れ自治体リスト」で検索していただくと載っています。

志比内小学校の山村留学の補助については、まだ未定です。

問い合わせ先としてご紹介いただければ幸いです。

どうぞ、よろしく願いいたします。

吉武ゆり

木村慧心先生へ

岩手県北上市・小沢アヤ子

この度の東北関東大震災に関し、日本ヨーガニケタン、日本ヨーガ療法学会はじめ多くのヨーガ関係の皆者にご心配と援助をいただき大変有難うございます。東北から関東沿岸 500 キロに及ぶ津波の被害は報道でご存じのように大変なものです。(※写真一部添付)

岩手の内陸に住む私達もなんとかヨーガで援助をしたいとあがいておりますが、現地の受け入れが整っていないため出来ないでいます。

現地のボランティアセンターに登録し、要請が来るのを待ってる状況です。市町村ごとに手続きが微妙に違いますので、とにかく直接現地に出向き本人が登録する必要があります。

たとえ、現地の人で、隣が避難所であっても必ずボランティア登録をし、朝晩活動のチェックをしないとお手伝いすら出来ません。

「ヨーガ療法」でなく何でもいいからお手伝いしたいというのであれば毎日即活動出来ます。私も現地に行った以上はただ帰るのはもったいないので、炊事やバス乗り場の臨時案内 などをして帰りました。

宮古市、釜石市のは現地に行ってボランティア登録をしてきました。

盛岡市は、100 人余りの方が避難していますが、ボランティアは盛岡市民に限るということですが、前澤先生が保健師さん通し協力を伝えております。

雫石町も同様にホテル旅館に100人単位で避難されていますので、健康増進課に協力を伝え、態勢が整ったらお願いしますとのことでした。

北上市は、VCを設置していませんが、社会福祉協議会、健康増進課などにボランティア協力申請をしております。

北上市から沿岸の市町村に出向くには、往復5～6時間かかりますので行って帰るだけでもへとへとです。ガソリンが手に入りにくい状況は今だに続いておりますので、車で行くのも難しく、本数の少ない電車や臨時バスを乗り継いで往復はなかなか大変です。

現地に入ると、テレビでは見ていましたが津波の爪痕のすさまじさに涙が流れて止まりませんでした。

自分も被災したタクシーの運転手さんが、「見て下さい…見てって皆に伝えて下さい…こんなになってしまっ…もうこの街は立ち直れないかも…」と声を詰まらせるのを聞いて私は「大丈夫、復興出来ますよ…」とは言えませんでした。私自身も自然のエネルギーの凄さに声も出なかったのです。

そのタクシーの運転手さんはあちこちに連れてって被害の様子を見せてくながら、何でここに足を運んだのか報道関係者か？と聞かれてので事情を説明しますと、「みんな逃げて行くのに…自分のことで精一杯なのに…こんな風に現地に来てくれて心配してくれる…有難い。あなた方のやろうとしていることは、これから…これから沢山の人たちに役に立つこと、励ましになることです。お願いします。…みんな胸が張り裂けそうな悲しみの中にいます。希望の光なんてまだ先です。電気のつかないところでラジオから流れる節電のPRを聞くと虚しさがこみあげてきます…そして、真っ暗な瓦礫の下にまだまだいっぱい遺体が手つかずに放置されてると思うと可哀そうで夜も眠れないし、怖いよ～！」

津波で何もかも流されてしまった大槌町の町を背に、何事もなかったように静かに寄せては返す海の波を見ながら2人で私の持ってたおにぎりを食べました。ガス、水道、電気もなく家に帰っても当分温かいものは食べれないと言いながら…。

以上のような有様で、私達も何も出来ないまま歯がゆい気持ちであります。

せめて、援助する側の私達が日常を取り戻し、長期的に取り組むことが肝要かなと思っておしています。

教室の開始(4/1より)、義援物資、義援金などを集める活動をしつつヨガ療法の出動要請を待っている状態です。

現地に行ってみて、義援金はいくらあっても足りないくらいだろうな…最後は「お金」と「自他の区別のない愛と思いやり」が一番かなと感じて帰って来ました。

古市先生のチェルノブイリでのお話にも有りましたが、『忘れられているんですよ…放っばらかされているんですよ…』にならないようにしたいと思います。